

西小だより

よく考え 仲間とともに やりぬく子

磨き高まり合った子どもたちと宝物

校長 水野 聡



5月初旬に2年生が苗植えした夏野菜が立派に成長してきました。いよいよ収穫時期です。西小学校の子どもたちも同じように3か月半で力強く成長してきました。今年の夏は例年になく早い本格的な暑さ到来となり、熱中症をはじめ、暑さによる体調不良などを心配しておりましたが、子どもたちは毎日元気に勉強や運動に取り組みました。また、休み時間は暑い中でも運動場を元気よく走り回っている子どもも多く、常に心配でしたが、エアコンが効いている教室に入り「すずしい～」と爽やかな笑顔を見て‘ほっ’とする毎日でした。明日から夏休みです。41日後、一回りたくましくなった子どもたちに会えることが楽しみです。

宝物1

何ととっても子どもたちの「笑顔でのあいさつ」です。朝の運動場で、児童玄関で、廊下で思いっきり元気な声で「おはようございます」。この気持ちのよい挨拶は、年々よくなっていると実感しています。もちろん、朝だけでなく日中や下校時もきちんとできます。この「笑顔であいさつ」を支えているのが、毎朝児童玄関であいさつ運動の啓発を行っている運営委員会の子どもたちです。毎朝続けることは言葉で言うことは簡単ですが、とても大変なことです。西小学校をあいさつで高めるといふ気概を持ち、やり切ったとても頼もしい子どもたちでした。

宝物2

子どもたちを支えてくださるたくさんの方々の地域の方々です。登下校時の見守りの方々、読み聞かせの「ぐりとぐら」さんと「ブレーメン」さん、校外学習の地域探検で見守ってくださる交通安全協会の方々、地域の自然や文化を教えてください川辺町ふるさと愛好会の方々、花壇やプランターに野菜や花の苗植えで教えてください民生児童委員の方々、家庭教育学級や衛生面でお世話になっている校医さんや学校歯科医や歯科衛生士の先生、薬剤師さん、校庭の樹木の剪定を行ってくださった天理教東濃大教会の方々、そして、今年度は家庭科の授業でも児童の支援に入っていたい地域ボランティアの方々等々。紙面上ではありますが、皆さま誠にありがとうございました。

西小のシンボル ‘梅檀の木’

校庭の南端に、西小のシンボルである梅檀の木があります。大地にしっかりと伸ばす根、太く力強い幹、太陽に向かって大きく広げる葉。西小学校の卒業生をはじめ、関わりのある多くの方は印象に残っていると思います。総合的な学習の時間の授業は‘せんだんタイム’という名称です。近年その梅檀の木は元気がなくなり、とうとう今年度は、葉もつけませんでした。先日、樹木の専門家に診ていただいたところ、枯れているとのことでした。台風等で倒木すると非常に危険なため、川辺町教育委員会と協議した結果、残念ですが、夏休み中に伐採することになりました。思い出に写真等で記録に残されてはどうか。よろしくをお願いします。

